

# 「“ともに生きる”を目指して ～学校の中の福祉教育～」

児童・生徒たちが学校・地域・家庭の中で安心して幸せに生活できるよう、福祉の心を育て、ともに生きる力を育むための「学校教育」と「福祉教育」、そして「社会教育(地域)」を加えた三者の連携について講義と事例発表等を通して考えました。(受講者数 44名)

## 〈研修内容〉

### ○講義

演題 「“ともに生きる”を目指して」

講師 日本福祉大学 学長 原田 正樹 氏



### ○事例発表

発表Ⅰ 発表者 富士見町社会福祉協議会 地域福祉係長 進藤 竜一 氏

発表Ⅱ 発表者 塩尻市社会福祉協議会 指導専門員 高砂 美織 氏



### ○パネルディスカッション

テーマ 「学校・社会福祉協議会・地域の連携・協働 ～地域共生社会の実現に向けて～」

コーディネーター 原田 正樹 氏

パネリスト 長野県社会教育委員連絡協議会 副会長 下平 道広 氏  
進藤 竜一 氏 高砂 美織 氏



### ○グループワーク



## 受講者アンケートから

●原田先生のお話から「ともに生きる」という意味、意義についてかんがえることができました。相違実現のため「ふだんのくらしのしあわせ」を相互で考え、実現していくことが大切であると思いました。(県・国職員)

●福祉教育をどう広げていくのか、福祉の学びを深めた生徒をどのように活かしていくのかを考えるきっかけとなりました。(学校教職員)

●事例発表の内容での、具体的な所や取組みや大事なポイントを知れました。地域にかえしていく事や共有していく事、個人の事をもとに、一緒に解決することがポイントなのではないかと思いました。(社会福祉協議会)

●様々な職種の方から意見を出すことにより、違う視点での学びを深めることができたので良かったです。(学校教職員)